

## 式 辞

本日は、章光堂 築100周年記念式典にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。開催にあたりまして、愛媛大学を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

章光堂は、愛媛大学の前身である旧制松山高等学校の講堂として、大正11年に建築されました。その後、昭和24年に愛媛大学文理学部講堂となり、昭和38年には愛媛大学教育学部附属中学校講堂となり、現在に至っています。

章光堂は、旧制松山高等学校から現在まで存在する唯一の建物です。昭和54年に愛媛大学保存建物に指定され、平成10年に文化庁の有形文化財に登録されました。薄いウグイス色のルネッサンス風の外見や、ギリシャ・ローマ風の建築様式による玄関などには、建築された大正の時代のロマン、いわゆる「大正ロマン」の面影が今も残されており、歴史的建造物として格調高いものとなっています。

平成24年度に耐震改修の工事を行い、現在は、安全な環境のもと、入学式、卒業式、音楽会などの学校行事や日々の教育活動に使用されております。

本日、100年という大きな節目を迎え、ここに築100周年記念式典を挙行できるのは、偏に、同窓会、後援会、PTA、教職員、そして、生徒の皆さんの多大なご尽力の賜物と思います。その歴史と伝統は、関係者一人一人が熱意と愛情をもち、自分たちのものとして継承してこられたものです。文化的にも、歴史的にも、建築的にも価値のある章光堂を、これからも愛媛大学として大切に保存し、後世に伝えていくことが現在を生きる私たちの務めでもあります。

生徒の皆さんには、この章光堂を見守ってきた先輩方への感謝を忘れず、旧制松山高等学校、そして、愛媛大学の伝統を受け継ぐ者としての誇りをもって、勉学、運動、芸術、文化活動に励み、大きく成長していただくことを期待しています。

このあと、「まつやま文化財サポートの会」の中城 康圓様に、「章光堂の歴史」と題したご講演をいただくことになっています。章光堂の価値や秘話についてお話いただけること、大変楽しみにしております。また、第2部の記念行事では、卒業生による思い出話や、生徒会が企画した章光堂をモチーフにしたクリエイターズ・コンテストの作品発表が予定されていると聞いています。章光堂の未来にも想いを馳せ、築100周年の記念の日をみなさんとお祝いしたいと思います。

結びに、愛媛大学並びに附属学校園のさらなる発展と、本日ご参会の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。

令和4年2月14日

愛媛大学長 仁科弘重